

軽自動車 6 時間耐久レース コースオフィシャル ミーティング

2026/10/05 コース委員長 樋口雅樹

2026/10/08 改訂 オフィシャルリスト

<2025変更点>

- ・オフィシャル必要物（持参・支給）
- ・黄旗の掲示・強振例
- ・ピットインオフィシャルのハンドメガホンのサイレン
- ・ピットアウトオフィシャルのサイレンとベルトチェック
- その他、各所修正

<2026変更点>

- ・スタート手順
- ・ゴール手順
- ・オフィシャルタイスケ 10/10(土)／10/11(日)
- ・オフィシャル配置表 10/10(土)／10/11(日)
- その他、各所修正

1 -(1). オフィシャル必要物（持参分）

黒以外の服・長袖長ズボン	ハチ・虫対策推奨／旗の色の服は避ける
悪路に耐える靴	長靴推奨
追加飲料	
マスク	ホコリ対策
レインコート	
椅子	
ビニールシート等	荷物置き
ビニール袋(大)等	荷物のホコリ・雨対策
ヘルメット（推奨）＊2026追加	自転車用で可。耳が隠れていない事
手袋（革・軍手）	トラブル車の救出時
タオル等	

1 -(2). オフィシャル必要物（支給分）

ポストテント	組み立ては現地で
消火器	
パトライト・誘導灯(棒)	
弁当・飲料	
各種の旗とSCボード	日章旗・チェッカーは本部のみ
無線機と予備電池	
熊鈴	SLSより
コース業務分担表	
公プロ	
ペン	
記録用紙	
ハンドメガホン	P in/outにてサイレンを使用する
P in/out 記録	P in/out
臨時入場者パス	P in

2. ポストの仕事と位置の比較

	仕事	設置場所	立ち位置	旗の掲示
ダートラ	主としてトラブル・リタイヤ車両の救済(後処理)	トラブルの発生しやすい場所	コースから離れた安全な位置	本部・ギャラリー向け
ジムカーナ	主としてPTの判定とパイロン修正(後処理)	PTの発生しやすい場所	PTの判定がしやすい位置	本部・ギャラリー向け
レース	ドライバーに各種の指示を主として旗表示で行う(先行指示)	ドライバーが見やすい右手前方の要所	安全な土手の上など	ドライバー向け

 ○ ダートラポスト

 ○ ジムカーナポスト



○ K6ポスト

3. ポストオフィシャルの判断・判定

コース内にカメラやモニター等の施設は無い

本部や他ポストからは見通せず、無線での連絡・報告が全て

無線は1:1の会話しか行えず、通話中は他ポストからの報告が行えない

各ポストオフィシャル要員の全てが、競技長の傘下にいるのではなく、競技長に成り代わって判断・判定を、瞬時に行なわなければならない

他の競技のオフィシャルと異なり、
競技ルール

第2条 遵守事項

以下の事項について参加者及び競技運転者は、これを遵守しなければならない。

これに違反した場合は、罰則を課す場合がある。

2. 1) 規則の熟知と遵守

参加者は競技の諸規則並びに諸規定を熟知し、これを遵守するとともに自己の参加に関わる全ての者にこれらの規則を遵守させる責任を有するものとする。

また、競技参加に関わる全ての関係者は、当該参加者と同様に規則を遵守しなければならない。

競技長・コース委員長と無線で連携しながらレースコントロールを行うのが仕事。
ルールを知らなければ連携できない

4. 業務分担表の見方

- (1) 各オフィシャルの主な業務内容
- (2) 各オフィシャルグループ内での業務分担
- (3) 「競技」規則書の主な関連ルール抜粋

2021_K5_コース業務分担表

2021_K5_コース業務分担表

			業務分担				
			a	b	c	d	e
1	ビットイン(4名)	ビットイン時の右ウインカー確認	○				コースから目を離さない
		一時停止確認		○			
		ビットイン時間の確認			○		
		以上の記録			○		
		記録用紙の本部提出			○		ゴール後速やかに
		無線伝達				○	
		マカーム時経過	○	○	○	○	

<旗掲示のガイドライン>

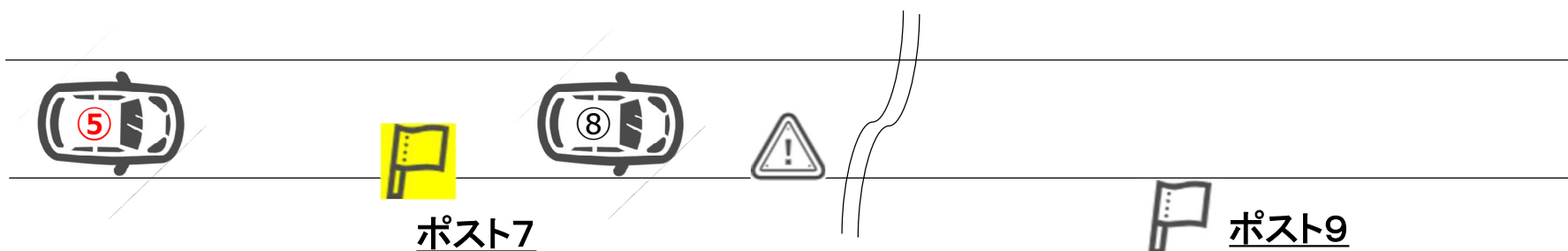
1. 黄旗

掲示無し: 十分なコース幅が残っていて、全開走行に支障が無い

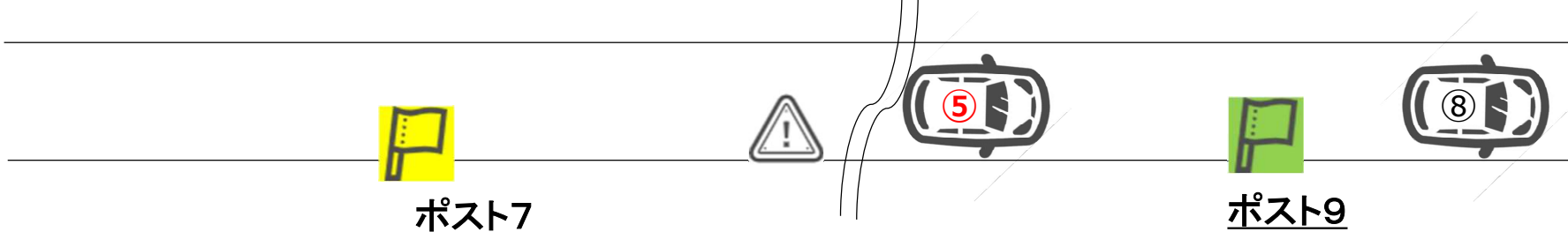
手旗減速: 十分なコース幅は残っているがやや全開走行には気がかり

黄旗減速: コース幅に支障が無い、十分な減速が求められる

5. 黄旗掲示と緑旗掲示の関係性



ポスト7の先で大きなトラブル発生！本部へ無線連絡後に黄旗掲示の指示を受ける。
ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、**ゼッケン⑤から黄旗を提示。その状況を無線連絡。**
ポスト9はゼッケン⑤から緑旗を掲示できるよう準備して待機。



ポスト9でゼッケン⑧には旗の掲示を行わず、**ゼッケン⑤から緑旗を提示。その状況を無線連絡。**
ポスト7は本部からの指示が有るまで黄旗掲示を維持。

6-(1). 黄旗の追い越し禁止区間

* 黄・緑・赤旗は、道路の信号機の色ではありません！

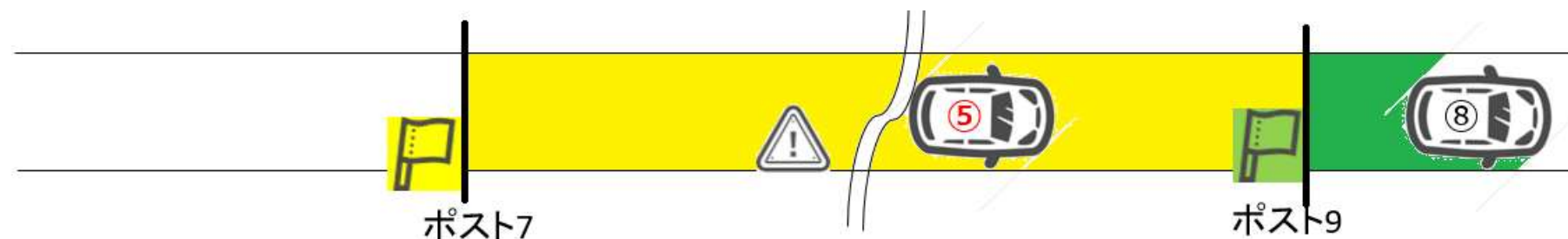


ポスト7の先で大きなトラブル発生！

ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、ゼッケン⑤から提示。

ゼッケン⑧は前方にトラブルの現場が有っても緑旗状態。即ち追い越し可

ポスト7まではゼッケン⑤も追い越し可、ポスト7からは黄旗。



ゼッケン⑤はポスト9まで追い越し禁止、

緑旗を掲示しているポスト9を超えてから追い越し可となる。

6-(2). 黄旗の追い越し禁止区間

- ローリングスタート時：
 > 全ポストでゆっくり**黄旗を振る + S Cボード掲示**
- 特定ポストで赤旗発生：
 > 他のポストは黄旗を強振（× 全ポスト赤旗は無い）
- 特定ポストでトラブル発生：
 > 指定されたポストで黄旗を掲示または強振
 > レスキューのコースイン時は全ポストで **S Cボード**
- 散水車コースイン：
 > 全ポスト**黄旗静止（F C Y） + S Cボード掲示**

7. 無線交信例（1）

<フォーメーションラップ>



こちらはペースカーです
フォーメーションラップを開始したので
全てのポストは黄旗をゆっくりと振っ
てください。最後尾のゼッケン△△
番の☆☆大学が通過時に、
無線連絡してください。

コース委員長から、全ポストオフィ
シャル、レスキューへ、ペースカーラ
ンで走行を開始する前に連絡し
ます

全てのポストは最後尾ゼッケンの
通過を報告します。
途中車両に異常走行を確認出
来たら速やかに無線連絡をお願い
します。



ポスト6です
ただ今、最終ゼッケン△△番が通過し
ました。
隊列は正常です

7. 無線交信例（2）

<フォーメーションラップ>

競技長から該当ポストへの指示
です。レスキューの出動判断は該
当ポストに託したケースです。

こちらは本部です 
最後尾の車両が通過後に隊列に
戻してください
自力で戻れない場合はレスキュー
出動を要請してください

ポスト7です 
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタック
して、隊列を維持できません
コースは塞いでいません

コースは塞いでいないが隊列が整
わず、判断を本部に委ねる為の
報告です。

7. 無線交信例（3）

<フォーメーションラップ>

フォーメーションラップは中止です。
スタック車両を撤去するためのレ
スキュー車両の走路確保が必要
です。

こちらは本部です。
レスキューは競技車両に注意しながら
出動してください。
全てのポストは、レスキュー車が通過
できるように、
競技車両をコースの右側に寄せるよう
に誘導してください

ポスト7です
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタックし
て、隊列を維持できません
コースを塞いで後続車は止まっています
自力でのコース復帰は不可能です

コースを塞いでいて動けず、フォー
メーションラップが中断してしまいま
した。本部に委ねる為の報告です。

7. 無線交信例（4）

<転倒>

レースは中止です。転倒車両を撤去するためのレスキュー車両の走路確保がまず必要です。

こちらは本部です



全てのポストは黄旗を強く振ってください
レスキューは競技車両に注意しながら出動してください。
全てのポストは競技が停止している事を確認出来たら、
レスキュー車が通過できるように、
競技車両をコースの右側に寄せるように誘導してください
ピットイン・ピットアウトは閉鎖します

ポスト7です



シケイン手前で壁に乗り上げ転倒、赤旗提示します

転倒車はゼッケン〇〇番の□□大学です

横転後、戻ってしまっても、転倒扱いです。転倒時の赤旗判断だけは各ポスト自身で行ってください。
走路の安全の確保ができたなら転倒車両に近づき、エンジンの停止有無に関わらず、外からキルSWを操作してください。その次にドライバーの安全確認です。
同時に他のポスト員は後続車を全力で減速・停止させてください

7. 無線交信例（5）

<コースアウト>

こちらは本部です
旗は出さずに、そのまま様子を見てください



こちらは本部です
旗は出さずに、そのまま様子を見てください
手前のポスト6は旗ではなく、
手を上下に振って、
競技者に注意を促してください



ポスト7です
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースはレース走行に問題ありません



安易に黄旗を出さない事が大切です

ポスト7です
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースは塞いでいないですが、
走行に注意が必要です。



7. 無線交信例（6）

<コースアウト>

ポストの位置、ゼッケン、大学名
など、重要な情報を全てのポスト
は聞き取ってください

こちらは本部です



手前のポスト6は**ゼッケンを確認できた車両から**黄旗を強く振って、
そのゼッケンをすぐに無線連絡してください。
無線連絡を受けたゼッケンから、
ポスト7も黄旗強振とポスト8と9は黄
旗を静止、本部前のコントロールラインで
緑旗を出します

ポスト7です
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースは塞いでいないですが、とても危険です。

1. 自身でのコース復帰ができそうにない場合
2. ドライバーの安全がとても危惧される場合
3. 明らかに二次的事故が危惧される場合

その他具体的な報告が大切です

7. 無線交信例（7）

<故障>

コースを塞いでレースを続行できない場合は赤旗でレースを停止し、本部前などで再スタートの段取りとなります。従って故障車が容易に復帰できない場合にのみ、赤旗でレースを中止します

こちらは本部です



全てのポストは黄旗を強く振ってください
ゼッケン確認は不要です
ポスト7は赤旗を出してください
レスキューは出動をお願いします。

ポスト7です



シケイン手前で壁に乗り上げ、コース中央で停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースを塞いでいて、自走もできません。

1. 自身でのコース復帰ができそうにない場合
2. ドライバーの安全がとても危惧される場合
3. 明らかに二次的事故が危惧される場合

その他具体的な報告が大切です

7. 無線交信例（8）

<接触・ブロック>

追い越しは右側からでも左側からでも可能です。
一方遅い車は原則として右側走行です。
悪質な走行を行う車両は、その行為を繰り返します
ので、何らかの指示を本部から行う可能性
あります

こちらは本部です 
全てのポストは、
ゼッケン〇〇番の走行に注視して、
危険とみなされた場合は報告してください

ポスト7です 
接触しながらの追い越し発生。
右側から追い越した車両はゼッケン〇〇番
の□□大学です

ポスト7です 
故意に追い越しを妨げる行為が発生。
ブロックした車両はゼッケン〇〇番の□□大
学です

7. 無線交信例（9）

<ペナルティ>

ペナルティの判定は競技会役員が行い、審査委員会が裁定する事になっています。

ポスト員はポストを離れられないので、**競技会役員が聞き取りに行き、審査委員会にかけます**

こちらは本部です



審議の為に競技役員がポスト7に向かいますので待機してください

ポスト7です



黄旗中に追い越しが発生。

追い越した車両はゼッケン〇〇番の□□大学です

黄旗区間での追い越しだったか、
今一度ポスト員全員で
よく確認し合ってください

7. 無線交信例 (10)

<ペナルティ>

競技時間の半分会過後はマッドフラップ脱落の修理は免除されます

こちらは本部です。
ピットインの指示をチームから出させます

ポスト7です 
マッドフラップが脱落していますがコースに問題はあります。
脱落した車両はゼッケン〇〇番の□□大学です

車輛のトラブルは、早期にポストオフィシャルが発見し報告すべきです。それによって安定したレース運営が可能になります

8. ピットイン（競技規則書抜粋等）

ピット入場の際は
右ウインカーで合図すること。
（最終ヘアピンコーナー通過後
速やかに合図すること。）

S Cラン時のピットインは認める

S Cラン中に散水作業の状況によっては、
隊列全車をピットインさせる場合がある

パトライト点灯のままS Cがピットインした場合は全車それに従うこと。

ピットインは必ず一時停止し、
競技会役員の指示に従うこと。

ピットロードの走行はローギアのみで最
徐行すること。
速度は時速8 km以下（人の早歩
き程度）に速度規制される。

またピットクルー2名が帯同する。
帯同者がいない場合は後続車をふさ
がないように仮の待機場所に移動

明らかに違反した速度、
及びクルーの帯同無しと
判断した時にハンドメガ
ホンのサイレンを鳴らす
事とします

9. ピットアウト（競技規則書抜粋等）

ピットアウト(コースイン)は
SCラン終了後のコントロールライン上にて
緑旗が提示された後に
隊列の最後尾に付く事で
コースインを認める。

ピットアウトは必ず一時停止し、
競技会役員による安全装備チェック
(ヘルメット、HANS デバイスまたはネックプ
ロテクターの装着、服装、**シートベルトの
装着状態等**)
を受けなければコースインは出来ない。

ピットアウトは本コース優先とし、
コースに入る時は
左ウインカーで合図をし、
注意しながらコースに入ること。

コースイン後の最初のコーナー
はアウトサイドを走行すること。

先頭車両がチェッカーフラッグを受けたと同時に
ピット出口は閉鎖され、
ピットに停車中の車両は
再びコースに戻ることは出来ない。

ピットアウトしてしまったが何らかの理由で停めたいとき、
速やかにポスト 1 の協力を得るために
ハンドメガホンのサイレンを鳴らす事とします

10. ピットイン・アウト共通（競技規則書抜粋等）

ピットロード



ピットレーン

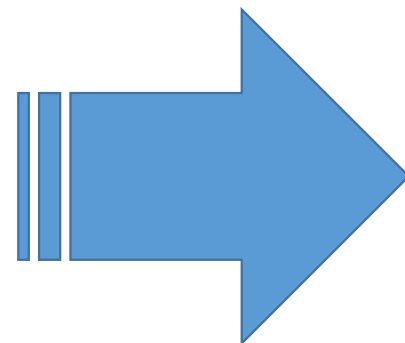
16条10項
規制されるピットロードとは、
ピットイン時の一時停止ラインから、
ピットアウト時の一時停止ラインまでとする。

21条2項
ピットレーンの入口・出口は
競技中断（赤旗）と共に閉鎖され、
競技再開（緑旗）と同時に開けられる。

ピット及びピットレーンは逆走・バックギア禁止。

**発見したらハンドメガホンのサイレンを鳴らす
事とします**

ピットロード



1 1. スタート手順

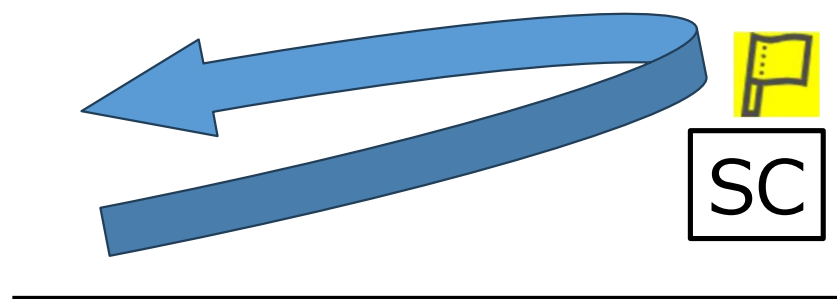
④シケイン前



シケイン前のダミーグリッドに
2列で整列した後に
SC先導によりフォーメーションラップ



③各ポスト



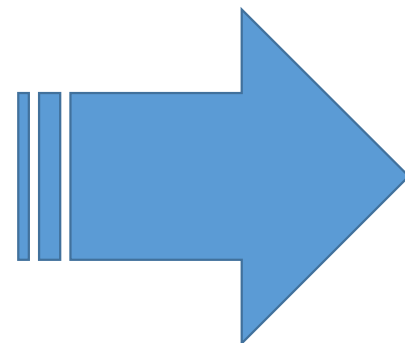
- ・コース正副委員長と事前無線確認
- ・黄旗とSCボード掲示

②ピットロード

競技会役員の指示に従い、
一台ずつコースイン、単独で走行

①パドック

パドックからグリッド順にピットアウトの一時停止
線前に並ぶ



1 2. ゴール手順

③ピットロード

競技終了後は所定の指示された場所において**完走した全車両**について**車両保管**とする

優勝車両のレース距離の**50%に満たない車両は完走とは扱わず NC**

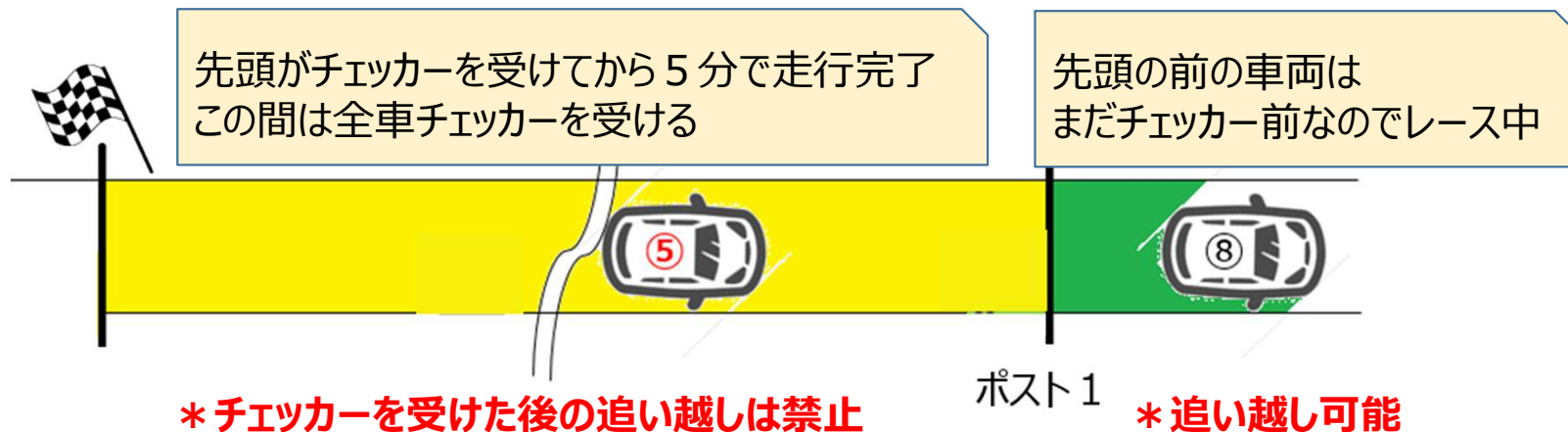


②各ポスト

無線で確認した
チェッカーを受けた先頭車両から
全ての旗を振動掲示

先頭がチェッカーを受けたと同時に
ピットレーン出口は閉鎖

①コントロールライン



1 3 -(1). オフィシャルタイスケ(10/10(土))

年月	時	学生	OB/一般	競技会役員
2026年 10月10日(土) OB/一般の部	5	5:30 ゲートオープン コースオープン	5:30 ゲートオープン コースオープン	5:00 集合(連盟員・一部の競技役員)
	6	6:15 オフィシャルMTG 6:45	6:15 一般の部受付 6:45	6:15 一般受付開始・オフィシャルMTG 6:45 車検準備・コースクリア
	7	7:15 コースクローズ	7:00 一般の部公式車検開始 7:15 コースクローズ	
	8		8:00 一般の部公式車検終了 8:00 ドライバーズブリーフィング 8:45 コースイン 8:50 フォーメーションスタート	8:00 ドラミ・オフィシャル集合配置 8:40 コースオフィシャル配置完了 8:45 コースイン誘導(IN/OUT担当)
	9		9:00 スタート	9:00 スタート(フラッグ:大会組織委員長)
	10			10:45 学生の部受付準備
	11	11:00 学生の部受付開始 11:30 学生の部受付終了・車検開始		11:00 学生の部受付開始 11:30 学生の部受付終了・車検開始
	12			
	13	13:30 学生の部車検終了		13:30 学生の部車検終了
	14			
	15		15:00 ゴール・車両保管開始 上位入賞車再車検 15:30 表彰式	15:00 ゴール(フラッグ:大会会長) 車両保管誘導(IN/OUT担当) 上位入賞車再車検 15:30 表彰式
	16			
	17	17:00 完全撤収・ゲートクローズ	17:00 完全撤収・ゲートクローズ	

1 3 -(2). オフィシャルタイスケ(10/11(日))

年月	時	学生	OB/一般	競技会役員
2026年 10月11日(日) 学生の部	5			5:30 集合(連盟員・一部の競技役員)
	6	6:00 ゲートオープン コースオープン 6:30 出走前点検(各ピットにて)	6:00 ゲートオープン 車両保管解除 6:15 OBオフィシャル集合 6:30 オフィシャルMTG	6:15 OBオフィシャル集合 6:30 オフィシャルMTG
	7	7:15 コースクローズ 7:30 ドライバーズブリーフィング		7:15 出走前点検(車検担当役員) 7:30 ドラミ・オフィシャル集合配置
	8	8:10 開会式 8:40 8:45 コースイン 8:50 フォーメーションスタート		8:10 開会式 8:40 8:40 コースオフィシャル配置完了 8:45 コースイン誘導(IN/OUT担当)
	9	9:00 スタート		9:00 スタート(フラッグ:大会会長)
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15	15:00 ゴール・車両保管開始 上位入賞車再車検		15:00 ゴール(フラッグ:大会会長) 車両保管誘導(IN/OUT担当) 上位入賞車再車検
	16	16:00 表彰式・閉会式	16:00 学生の部表彰式・閉会式	16:00 表彰式・閉会式

14-(1). オフィシャル配置表 10/10(土)

	氏名	学年	チーム名	経験回数
ポスト1	柳沢理事		担当理事	
ポスト1	北村哲士	1	駒澤大学A	0
ポスト2	木村謙秀	1	亜細亜大学Bチーム	0
ポスト2	村瀬善斗	1	亜細亜大学Bチーム	0
ポスト3	河野奏太	2	亜細亜大学Bチーム	0
ポスト3	羽鳥有輝	1	亜細亜大学Aチーム	0
ポスト4	斎藤大雅	1	亜細亜大学Aチーム	0
ポスト4	鈴木 慧	2	亜細亜大学Aチーム	0
ポスト5	進士 充優	3	慶應義塾大学4年生チーム	0
ポスト5	佐々木佑樹	1	慶應義塾大学2-3年生チーム	0
ポスト6	奥野さん			
ポスト6	西村 暁道	1	立教大学A	0
ポスト7	河野雅也	4	青山学院大学体育会自動車部	0
ポスト7	吉澤 康太	1	関東学院大学	0
ポスト8	中杉琉聖	4	東京農業大学	0
ポスト8	持田祐樹	1	専修大学	0
P8別要員	鈴木政名	1	専修大学	0
ポスト9	坂井瑞輝	1	中央大学B	0
ポスト9	藤庵純嵩	1	中央大学A	0
ピットイン	漆澤鼓	1	國學院大学	0
ピットイン	小山馨太	1	國學院大学	0
ピットイン	長南 裕一朗	1	千葉工業大学B	0
ピットイン	林 大稀	1	千葉工業大学A	0
ピットエリア入場	小澤 瑛人	1	関東学院大学	0
ピットアウト	松本亜子	1	慶應義塾大学 1年生チーム	0
ピットアウト	菅原鳳太	1	國學院大学	0
ピットアウト	正田脩人	1	國學院大学	0
ピットアウト	村上隆人	1	中央大学（兼務）	0
本部テント	寺島瑞希	1	法政大学	0
本部テント	市川暁成	1	専修大学	0
本部テント				
装備チェック	柳委員		運営協議委員	
装備チェック	仲田理事		コース副委員長	
装備チェック	村上隆人	1	中央（兼務）	0
装備チェック				

14-(2). オフィシャル配置表 10/11(日)

SCカー Dr.	仲田理事	コース副委員長
SCカー	樋口	コース委員長兼コントロール
レスキューカー	望月理事	コース副委員長
レスキューカー	田中さん	専修大学

	氏名	学年	チーム名	経験回数
ポスト1	椎名 航平	OB	千葉工業大学OB Aチーム	3以上
ポスト1	三橋 拓実	R7	千葉工業大学OB Bチーム	1
ポスト2	清水さん			
ポスト2	笠井 敏行	OB	元信大学OB 奈良の鹿！！	0
ポスト3	松本さん			
ポスト3	ニコルス プライアン		青山学院大学OBチーム	3以上
ポスト4	林 新一郎	S62	立教大学A	3以上
ポスト4	遠藤 輝秀	OB	東海大学OBチーム	1
ポスト5	白石 潔	H13	慶應義塾大学OB・A	3以上
ポスト5	伊藤 崇文	H25	慶應義塾大学OB・A	1
ポスト6	町井 隆男	H30	法政大学OB Aチーム	3以上
ポスト6	田中 佑太	H27	法政大学OB・B	0
ポスト7	竹内 仁志	OB	青山学院大学OBチーム	3以上
ポスト7	岡田 理事		早稲田OB	
ポスト8	望月 健太	H31	東京農業大学OB	1
ポスト8	齋藤 樹	H23	東京農業大学OB	1
P8別要員	X		東京農業大学OB	
ポスト9	田島 誠	OB	早稲田オールドボーイズ	3以上
ポスト9	田島 一志	OB	早稲田オールドボーイズ	3以上
ピットイン	柳沢 理事		担当理事	
ピットイン	山下 歩輝		S.T.A.R.K.	0
ピットイン	井上 彰浩		東海大学OBチーム	
ピットイン	野波さん		東海大学OBチーム	
ピットエリア入場	臼井 舞桜	3年生	防衛大学校	0
ピットアウト	柳 委員		運営協議委員	3以上
ピットアウト	平野 七実	H31	日野KOTORAS	3以上
ピットアウト	古井 利和		東海大学OBチーム	
ピットアウト	梅田 佳彦		東海大学OBチーム	
本部テント	平福 理事		+奥野さん	
本部テント	稲吉 那奈	3年生	防衛大学校	0
本部テント	小川 泰熙	3年生	防衛大学校	0

EOF